

会長就任にあたってのご挨拶とお願い

1994-1995年度の2年間、会長をさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。根に係る問題について研究を行なっている会員、および現在は直接研究を行なっていないけれども関心を持っている会員に、メリットがあるようなネットワークづくりを行なっていきたいと思っております。具体的には、この2年間に「根の研究」を年間4回発行すること、年間1回以上のシンポジウムあるいは研究集会を開催すること、「農業および園芸」における連載を続けていくことを目標と考えております。すなわち、新しい企画も随時取り入れていきたいと思っておりますが、地道な活動を着実に継続させることを通じて研究会としての実績を積み上げていくことを第一に考えたいと思っております。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。また、任期中に当該年度以降の前納金を考慮に入れなくても、単年度の決算で赤字でない状態にまで持って行きたいと思っております。そのため、会員の皆様に当該年度の会費を早めにお送り下さいますようお願い申し上げます。

1994-1995年度の研究会の運営体制につきましては、次ページ以降のように考えております。すなわち、今期は会長が編集委員長、運営委員が編集委員を兼ね、前期の編集委員の中から小柳さんに監査をお願いしました。また、事務局と編集委員会は独立させました。なお、私事で恐縮ですが、7-10月にカナダへ留学することが内定致しましたので、不在期間中は、運営委員の山内さんに会長代理をお願いすることに致しました。

すでにお気付きのように、「根の研究」に初めて原著論文の投稿がありました。そこで、早速、編集委員会が審査制度を作り、2名の編集委員の意見をもとに編集委員長の責任で判断を下すことにしました。このような投稿が多くなれば、自然と学会ということになるかもしれません。原著論文の投稿もお願い致します。慌てずに、ゆっくりと根を伸ばしていきたいと思っております。

根研究会の第1回シンポジウムは、皆様のご記憶に新しいところと思っております。中元さんおよび阿部さんを中心に実施され、現在、シンポジウムのプロシーディングに当る論文をまとめてPlant and Soilに投稿したところであります。このシンポジウム終了直後から、根系の理想型の問題が組織委員の間で話題となり、このテーマで第2回のシンポジウムを開催したらどうかということになりました。そこで、運営委員の山内さんを組織委員会の委員長、同じく運営委員の原田さんを副委員長として、企画をお願い致しました。詳細は該当ページをご覧頂きたいと思っておりますが、是非、多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

農業共済新聞に連載されておりました作物の根に関する解説記事を、農業共済新聞社の転載許可および執筆者の方々のご了解を得たうえで、本号から短期集中連載というかたちで、転載いたします。判り易く書かれておりますので、根に係る全体像の理解のために、ご利用下さい。

1994年3月 会長 森田茂紀